

運転士の仕事はなくなる？

中等 K.I

AI

近年、日本の出生率が年々減少しており、日本の人口もどんどん減少している。それで今後の働き手の減少が懸念されている中、AI (Artificial Intelligence) というものが注目されている。AI は自分で学習して仕事をこなすもので、道案内、レジでの会計、事務作業など様々な仕事を人間の代わりにこなしてくれる。このように聞くと素晴らしいものに聞こえるが、一方で、今まで人間がやっていた仕事を、どんどんAI がやることになり、人間の仕事がなくなっていくというデメリットがある。

運転士の仕事がなくなる？

最近、自動運転という言葉が話題になってきている。鉄道の観点で見ると、ゆりかもめや、横浜シーサイドラインなど新交通システムでは、すでに自動運転が行われており、山手線では、自動運転の実証実験が行われている。

このままでは運転士の仕事がなくなる可能性がある。



自動運転が行われている横浜シーサイドライン

そんな中でも小学生のなりたい職業ランキング (2018 年) では、鉄道運転士が TOP10 にランクインしている。

運転士の仕事はなくなる

先述した通り、運転士の仕事はなくなる可能性があるといわれているが、運転士の仕事はすぐになくとも言い難い。それはいくつかの理由がある。

それは AI の学習方法である。AI は失敗すると、その失敗をもとにどうすればいいのか考えて、実行する。という特徴がある。これは一度のミスも許されないという職種では大問題である。なので、リスクをゼロにする計画的な導入と、人間と機械のバランスを考えないといけない。また、サービスに関しては、人間にしかできないこともたくさんある。乗り換えの方法を乗客から聞かれたときに、その方が荷物をたくさん持っていたり、高齢だったりした場合には「荷物をお持ちのようなので、この車両に乗れば降りる駅でエレベーターが近くにありますよ」という臨機応変な案内は人間のほうが得意である。

さらに「運賃が安いのは A という駅で乗り換えるルートですが、乗り換えがないのはこのルートですよ」とその方の本当のニーズに合わせた提案は今のところ人間にしかできない。あらかじめ設定しておくことでさまざまなルートの提案をすることは機械にも可能だが、その提案をさせるためには、まず人間が「今私はとても重い荷物を持っています」とか「乗り換えはしたくありません」といった情報を機械側に提供しなければならない。そのため、先回りして声かけができるのはまだ人間にしかできない。

人間の魅力

車内のアナウンスについては多くの路線で自動アナウンスが採用されつつあるが、私は人間らしい声色がとても大事なのではと考えている。「本日は電車が遅れましてまことに申し訳ございません」という言葉と「本日もご乗車いただきましてまことにありがとうございます」を平坦に同じ声色で話してしまうと、聞いている人は感情を感じるができない。「ごめんなさい」と伝えるときにはしっかりと謝罪の気持ちを込める。また、「ご乗車ありがとうございます」と伝えるときには「皆さんがスムーズに乗車してくれたから、定時での運行ができています」という気持ちを込めることで、乗客の感じ方は大きく異なる。いずれそのようなことができる技術が開発されるかもしれないが、それはまだ先のことで、誰にもわからない。

安全性

これまでは乗客への対応の観点からみてきたが、安全性の観点ではどうだろうか。今自動運転が行われている路線を見てみると、すべて新交通システムで、すべての駅にホームドアが設置されており、全線にわたって高架というもので、踏切など存在しない。また、一部の区間で、自動運転が行われている山手線では、一か所のみ踏切が残されているが、2030年までには廃止となる見込みである。ただ、JRの主要路線では踏切が多く残されており、新交通システムのような完

全無人運転は難しいと思われる。さらに実際に自動運転の実証実験が行われている山手線でも、自動運転といえども前に監視員（運転士）が乗り、常に前を監視している。結局は乗務員室に人が乗るのだ。人を識別するカメラなども開発されているものの、何かに紛れたり、死角になったりして見落とししたりする可能性があり、第一乗客も気が気でない。

結局？

ここまで話して運転士は無くならないとはっきり言えないが、まだしばらくの間運転士という仕事は残る可能性が高いだろう。地方のローカル線となれば私が定年になっても残っているかもしれない。なので今もう運転士にはなれないと絶望する必要はない。しかし、なくなる可能性があるということは把握しておくべきで、これは運転士以外での職業でも言える。私は選択肢を広く持つておく方が良いと思う。

参考文献

<https://shingakunet.com/bunnya/w0009/x0123/mirai/> スタディサプリ

水野 操 あと 20 年でなくなる 50 の仕事（青春出版）

<https://toyokeizai.net/articles/-/321575> 東洋経済オンライン